

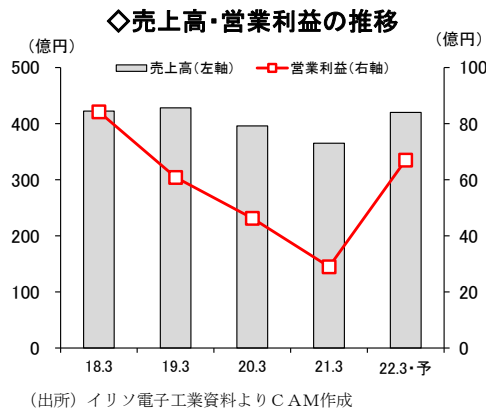
企業ニュース イリソ電子工業

(東証1部：6908) <http://www.iriso.co.jp>

作成者：村上大志

車載向けコネクタのリーディングカンパニー

1966年設立。カーAV・カーエレクトロニクスをはじめとした車載向けのコネクタ開発におけるリーディングカンパニー。機器の内部で使われている基板同士を接続するBtoB（基板対基板）コネクタを得意とする。近年では、製品開発の裾野を広げ、車載分野で培った技術を工作・産業用機械、スマートグリッド、通信機器、医療機器などのインダストリアル市場や情報通信、OA、映像機器などの消費者市場へと幅広く展開している。21.3期の市場別売上高構成比は車載81%（インフォテインメント42%、セーフティ18%、パワートレイン8%、その他13%）、消費者12%、インダストリアル7%。



電動車の市場拡大で需要が増加

22.3期・第2四半期累計(4-9月)の連結業績は売上高が220億円、前年同期比46%増、営業利益が25億円、同14.6倍。新型コロナウイルスによる操業度低下で低迷した前年同期から大幅に回復。半導体不足による自動車の生産台数減少は想定以上だったが、電動車の市場拡大を背景に車載のパワートレイン分野が好調に推移したことに加え、消費者及びインダストリアルが好調を維持した。売上高が上期としては過去最高、期初計画比15億円上振れした一方、営業利益は金、銅、樹脂などの原材料と輸送費の高騰で、同5億円の未達となった。

22.3期の会社計画は売上高が420億円、前期比15%増、営業利益が67億円、同131%増。通期計画は、半導体など部品不足の影響により車載市場の売上見通しが不透明なため据え置かれた。原材料費や輸送費の高騰の影響を受けているが、売価ダウンの抑制や固定費削減などのコスト削減施策が計画以上に進んでいる。主力の車載では中国向けでバッテリー関連が、インダストリアルではFA関連機器や5G基地局向けが好調に推移している。新製品の高速伝送フローティングBtoBコネクタ「10143シリーズ」は、車載機器に加え、産業や通信機器など幅広い分野の次世代アプリケーションに対応しており、今後の需要拡大が期待される。

[株価動向・投資判断]

自動車の生産台数回復に合わせ業績拡大が期待できる。EV関連銘柄としても注目したい。

<6908 イリソ電子 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	39,614 (▲8)	4,628 (▲24)	4,668 (▲26)	3,287 (▲12)	139.5	50.00
21.3	36,520 (▲8)	2,900 (▲37)	2,970 (▲36)	2,141 (▲35)	90.9	50.00
22.3 予	42,000 (15)	6,700 (131)	6,600 (122)	4,800 (124)	203.7	60.00



[主要株価指標] (売買単位：100株)

株価(2022/1/7)	4,410 円
昨年来高値(高値日)	5,750 円(21/5/11)
同安値(安値日)	4,205 円(21/1/12)
予想PER(22.3予)	21.7 倍
1株株主資本(PBR算出用)	2,370.2 円
PBR	1.86 倍
予想配当利回り	1.36 %
(1株当たり配当金年60.00円)	
ROE(21.3)	4.1 %
発行済み株式数	2,458 万株